

令和2年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493400087	事業の開始年月日	平成19年2月1日
		指定年月日	平成31年2月1日
法人名	ALSOK介護株式会社		
事業所名	グループホームみんなの家・横浜宮沢		
所在地	(〒246 -0038) 神奈川県横浜市瀬谷区宮沢3-21-25		
サービス種別 定員等	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名 ユニット数 2ユニット
自己評価作成日	令和2年10月16日	評価結果 市町村受理日	令和2年12月25日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・町内会に加入し地域交流を図っています。
・近隣の事業所と災害協定を結び協力体制を取っています。
・今年は新型コロナウイルスの影響により地域交流、家族会、運営推進会議、ボランティアの受け入れなどはしていません。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	令和2年11月21日	評価機関 評価決定日	令和2年12月21日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<事業所の優れている点>

◇近隣4福祉事業所と町内会、消防署との消防応援協力
・近隣の4福祉事業所と町内会、消防署とは、平成28年に「消防応援協力に関する覚書」を取り交わしており、火災や地震などの災害時に、他事業所や地域の方々から初期消火、避難誘導、応急救護などの協力得られる体制になっている。また、3か月ごとに開催する連絡会を通じ地域との交流も図っている。

◇近隣の系列6事業所との情報交換

・設置法人が運営する近隣6事業所は、3か月ごとに連絡会を開催し、運営面や業務の改善事例、利用者家族や職員からの意見・要望への対応などについて情報交換して、お互いの業務改善に役立っている。

◇新型コロナ禍への対応

・新型コロナの影響で、家族の面会は中止とし、利用者の外泊や遠出も自粛している状態である。また、ボランティアの受け入れも中止し、事業所のイベントには外部の方を招待できず、内部だけで行事を実施している。職員は、利用者の気分転換を図るため、近隣の散歩を増やし生活支援に努めている。

<事業所が工夫している点>

・直接家族と面会ができないが、建屋の外に来ている家族に利用者の元気な姿と表情を大きな窓越しに見てもらおうようにし、また、スマートフォン(携帯電話)を使い、元気な姿を見てもらい声も聴いてもらっている。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

令和2年度

事業所名	GH横浜宮沢
ユニット名	1F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			令和2年11月21日
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念を、フロアに掲げて職員に周知できるようにしています共有もできていると思われま	・理念の「必要な人に必要なサービスの提供」を、玄関や各フロアに掲げている。 ・毎月のカンファレンスで理念を、職員間で共有し、意識づけのため日々のサービス場面を振り返りながら話し合い、ケアに反映している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会行事にはできるだけ参加し、神社の掃除などは、入居者様と参加しています。	・町内会に加入している。コロナ禍発生前利用者は、職員と隣の神社に初詣に出かけ、清掃活動にも参加していたが、今年は中止している。 ・敬老会など事業所のイベントやボランティアの来訪も、現在中止しているが、訪問美容の再開を検討するなど、地域とのつながりに努めている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	家族の方には家族会や運営推進会議を通じて認知症に対する理解をしていただくよう説明しています。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回開催しています。事業所の活動報告や事故発生状況等も報告し、助言があった場合は速やかに対応しています。今年度は新型コロナウイルス感染症のため、書類のみです。	・コロナ禍以前は、2か月ごとに運営推進会議を開催し、事業所の現状報告後ヒヤリハット報告を行っていたが、書面会議に替えている。 ・家族から要望のあった利用者との面会は、建屋の外に来ている家族に利用者の元気な姿と表情を大きな窓越しに見てもらうようにした。	運営推進会議に利用者家族の出席が少ない月があります。コロナ禍解決後は、家族が出席しやすい開催日時を設定し、家族の意見を把握して運営に活かすことが望まれます。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	区役所担当者とは、事業所の問題を報告したりして連携しています。	・運営推進会議に出席する地域ケアプラザ職員から指導を得たり相談に乗ってもらっている。 ・区の生活保護ケースワーカー、介護保険担当課、高齢者支援担当課とは、手続きや連絡・相談事項で連携を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に対する意識向上のためカンファレンスを実施しています。	・身体拘束廃止委員会で、職員は身体拘束の弊害やスピーチロックなど具体的な事例を話し合い、身体拘束についての知識を共有している。 ・身体拘束など不適切なケアの有無を、身体拘束ゼロの手引きやチェックシートにて確認し実行している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止に対する意識向上の為に年6回研修を事業所内で行っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	自立支援については会議等でも意識向上のため話し合いや管理者が指示しています。成年後見人についてはご家族様と必要に応じ話っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前に契約書を配布し、ご理解していただくようにしています。契約当日は管理者自ら説明してご理解してから署名していただいています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や家族会を通じご要望を伺っています。また契約書等にも外部機関の連絡先をお伝えし、重要事項説明書に記載しています。	・利用者の意見は、日常の会話の中で聞き、家族からの意見や要望は、来訪時や電話連絡時、家族会で聞いている。 ・毎月、家族へ事業所の活動状況と利用者の状況を知らせ、家族会も年2回開くなど、家族とのコミュニケーションを重視している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	各フロア会議および全体会議の場で意見を聞き運営に反映しています。	・管理者は、日頃から職員とのコミュニケーションを図るよう心掛け、何でも言える雰囲気づくりに努めている。 ・カンファレンスや全体会議、個人面談で職員から出される意見と、日常業務での意見を聞き、運営に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課を定期的に行い、昇給等に反映しています。労働時間についても削減を図りながら働きやすい環境を整えるよう努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	今年度は新型コロナウイルス感染症の為研修に未参加ですが、職員個々の向上の為職場内の勉強会も実施しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	近隣施設との合同レクや合同消防訓練を実施の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症のため、できていません。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に職員が情報共有できるようにしています。細かなことは各居室担当者が主に行います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の調査時や契約時にご家族様のご意見やご意向を聞いてご意向に沿うようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人とご家族の双方にご要望を確認しています。ご意向と状態を把握しプラン変更しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員には自立支援の介護を指示しています。職員の個人差はありますが、できる限り自立支援のケアを行っています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様が気軽に立寄れるような環境を作るように職員へ接遇教育しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の了解を得たうえで、友人との面会や電話の取りつぎ、などを実施しています。	<ul style="list-style-type: none"> これまで培ってきた人間関係を、断ち切らないように、コロナ禍前は、利用者を支える友人の面会を歓迎し、茶菓を出し寛いで過ごしてもらっている。 ・外食や墓参など、利用者の希望を把握して家族に伝え、馴染みの人や場所との関係継続を支援している。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	朝はフロアにて全員でラジオ体操をしたり、庭にでられるようにスロープを設置して、フロアで過ごす時間を増やしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて行っていますが、個人情報管理が厳しく難しいところがあります。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の意向を尊重したケアを実施しています。個人の状況にもよりますがご本人およびご家族の意向を重視しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の関わりから、利用者の思いや希望、意向の把握に努めている。 ・意思表示困難な利用者には、行動、仕草、会話の片言から本人の意向の把握・検討を行っている。 ・把握した希望や意向は、記録や申し送りにて職員間で共有している。 	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前情報やご家族様から情報を得て一人ひとりの情報把握に努めています。新たな情報があった場合はカンファレンスを通じて情報の共有化に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居前にはご家族等への聞き取りにて把握している。既入居者についてはカンファレンスや日々の申し送りにて情報共有化をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・ご家族の意向とカンファレンス行い、情報の共有とケアプランに反映し、作成している。	・利用者と家族の意向に医療関係者の意見を容れて、ケアプランを作成している。 ・毎月のカンファレンスと3か月ごとのモニタリングを繰り返しながら、作成したケアプランを、6か月ごとに見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人ごとの生活記録に記入している。その他の気づきなどは申送りに記入し情報共有化をしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	外出・通院にはご家族様に協力してもらっている。緊急時などは職員で対応しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	今年度は地域の行事も中止の為未参加です。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の訪問時に生活状態などを細かく相談し必要に応じ紹介状などもお願いし他院への通院指示を受けています。その他の医療機関受診の際にも生活状態の情報を提供しています。	・大半の利用者が事業所の協力医を主治医とし、月2回の訪問診療を受けている。 ・入居前からのかかりつけ医（眼科、皮膚科、整形外科など）には原則家族対応で受診している。 ・訪問看護師が毎週健康管理を行い、医療連携ノートに記載し、関係者間で情報を共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の訪問時に日常生活や医療の情報を提供し相談、アドバイスももらい支援に繋がっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	面会やご家族様を通じ細かな情報の提供を求めています。また退院後の治療方法や緊急時の対応も含め医療機関との関係強化に努めています。必要に応じて訪問看護や、訪問マッサージもいれています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	現在のところ該当事例はありませんが、家族会や面会時に看取りケアについての情報提供をしています。	<ul style="list-style-type: none"> 入居時に「重度化した場合の対応に係る指針」を本人と家族に説明して同意を得ている。 重度化した場合、家族、医師・看護師、職員が連携し方針を共有して支援しており、看取り実績もある。 	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防訓練時に応急術の訓練を行う予定が、今年度は新型コロナウイルス感染症の為、立会いをしない為受講が出来ない。又外部受講も難しいので開催時期が来たら受講予定。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を実施している。また、地域のハザードマップを施設内に掲示している。水害地域は端れている。	<ul style="list-style-type: none"> 年2回夜間想定も含む防災訓練を実施している。 近隣4福祉事業所と町内会、消防署で「消防応援協力に関する覚書」を締結し、地域や他の事業所の方々の協力が得られる体制にある。 飲料水やアルファ米、缶詰などを備蓄、リスト化し管理している。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	尊厳の保持や接遇面について勉強会を通じ職員の資質向上に努めています。個人差がありますが実施しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は虐待防止委員会や身体拘束廃止委員会、職員会議で身体拘束や虐待防止等、利用者の人格の尊重とプライバシーの確保を学んでいる。 ・職員は丁寧な言葉遣いや声の大きさにも注意し、個人の尊厳を損ねないよう対応している。 	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様本人がお好きな事をして頂ける様支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様本位が基本であると指導しています。出来る限りご本人の意向を重視しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	個人によりますが、ご自分で着るものを選ばれています。整容も起床時および入浴時に行っています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	テーブルの配置にも一定の配慮をし食事時のトラブルを防ぐようにしています。出来る方は片付けは職員と共に行っています。	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回のパン食では、一部の利用者に、食べやすいようにアンコを入れてアンパン風にして提供している。 ・正月や節分、ひな祭りなどの季節月には、郷土料理を楽しんでいる。 ・利用者はできる範囲で、後片づけや食器拭きを手伝っている。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分摂取量は確認しています。食欲低下時や水分摂取困難時は個人の嗜好に応じたものを提供したり医療関係者・家族との情報共有化を図っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後実施しています。また月2回の歯科医・月4回の歯科衛生士が訪問し必要に応じケアをしています。ケアのアドバイスをいただいています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	こまめな声かけやトイレ誘導をしています。また排泄パターンやシグナルの把握に努め自立に向けたケアに取り組んでいます。	・排泄チェック表にて排泄パターンを把握し、利用者の様子や時間を見計らって声掛け誘導して、トイレでの排泄を支援している。 ・紙おむつの人は、3名で他の利用者は自立しており、一部介助の方には、さりげなく声かけしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	医療関係者とも連携しながら、水分摂取や運動・腹部マッサージなどを行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	週2回から3回の入浴と入浴剤などを使用したりして楽しんでいただくよう努めています。	・入浴は週2回以上、午後からを基本に支援している。 ・入浴を拒む利用者には、声掛けを工夫したり、時間を変えたりして対応している。 ・入浴剤ほか、ゆず湯や菖蒲湯で季節感を楽しめるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間は個々の利用者に聞きながら必要に応じ介助しています。入眠中は定時巡回などにより安心できるよう実施しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬情報をにより確認しています。場合によっては薬剤師に相談し粉碎などにしてもらっています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	役割については個人差や好みに応じて持ってもらい、楽しみも個人の好みに応じたレクを実施しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出についてはご家族様対応でしたが、今後少人数での外出レクを検討中。散歩などは日常的に実施しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・天気の良い日は、施設裏の神社の境内や近隣の野菜畑に散歩に出かけている。散歩に出られない日は、ベランダで日向ぼっこをしながら外気浴を楽しんでいる。 ・コロナ禍前には、家族と外食や旅行に出かける利用者もいた。 	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は管理者管理。少額のお金を持っている入居者様もいる。外出の際は飲み物など買えるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話はご家族様からある際は話して頂いたり、手紙は可能な利用者の方には暑中見舞いを家族宛てに書いてもらいました。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様が作成したものを貼ったりトイレなどは清潔が保持できるよう努めています。	<ul style="list-style-type: none"> ・明るいきりびんぐは、職員が毎日清掃し清潔に保たれている。利用者もできる範囲で、廊下のモップかけを手伝っている。 ・壁面には、利用者の塗り絵等を飾り、季節感を採り入れ、また、施設の一部から富士山を楽しめるなど居心地の良い空間になっている。 	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	席の配置などに配慮しています。利用者様同士お部屋を行きされるためトラブルない様に配慮しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様には新しいものでなく使い慣れしんだ物を持って来ていただいています。	<ul style="list-style-type: none"> ・ベット、カーテン、洗面台、クロゼットが設置された居室に、利用者は、テレビや使い慣れた家具、写真、思い出の品々を持ち込み、居心地よく過ごせるように工夫している。 ・担当職員が利用者と部屋の掃除、季節の衣替えを行っている。 	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレの場所がわかりやすいようにしたり、各居室前にはご本人の顔写真を掲示し迷ったりしないよう工夫しています。		

令和2年度

事業所名	GH横浜宮沢
ユニット名	2F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			令和2年11月21日
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念をフロアに掲げ職員に周知できるようにしています共有もできていると思われま		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会行事には出来るだけ参加し神社の掃除などは入居者様と参加しています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	家族の方には家族会や運営推進会議を通じて認知症に対する理解をしていただくよう説明しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回開催しています。事業所の活動報告や事故発生状況等も報告しています。助言があった場合は速やかに対応しています。今年度は新型コロナウイルス感染症の為書類のみです。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	区役所担当者とは事業所の問題を報告したりして連携しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に対する意識向上のためカンファレンスを実施しています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止に対する意識向上の為に年6回研修を事業所内で行っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	自立支援については会議等でも意識向上のため話し合いや管理者が指示しています。成年後見人についてはご家族様と必要に応じ話っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前に契約書を配布し、ご理解していただくようにしています。契約当日は管理者自ら説明してご理解してから署名していただいています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や家族会を通じご要望を伺っています。また契約書等にも外部機関の連絡先をお伝えし、重要事項説明書に記載しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	各フロア会議および全体会議の場で意見を聞き運営に反映しています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課を定期的に行い、昇給等に反映しています。労働時間についても削減を図りながら働きやすい環境を整えるよう努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	今年度は新型コロナウイルス感染症の為研修に未参加ですが、職員個々の向上の為職場内の勉強会も実施しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	近隣施設との合同レクや合同消防訓練を実施の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の為出来ていません。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に職員が情報共有できるようにしています。細かなことは各居室担当者が主に行います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の調査時や契約時にご家族様のご意見やご意向を聞いてご意向に沿うようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人とご家族の双方にご要望を確認しています。ご意向と状態を把握しプラン変更しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員には自立支援の介護を指示しています。職員の個人差はありますが、出来る限り自立支援のケアを行っています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様が気軽に立寄れるような環境を作るように職員へ接遇教育しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の了解を得たうえで、友人との面会や電話の取りつぎ、などを実施しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	朝はフロアにて全員でラジオ体操をしたり、庭にでられるようにスロープを設置して、フロアで過ごす時間を増やしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて行っていますが、個人情報管理が厳しく難しいところがあります。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の意向を尊重したケアを実施しています。個人の状況にもよりますがご本人およびご家族の意向を重視しています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前情報やご家族様から情報を得て一人ひとりの情報把握に努めています。新たな情報があった場合はカンファレンスを通じて情報の共有化に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居前にはご家族等への聞き取りにて把握している。既入居者についてはカンファレンスや日々の申送りにて情報共有化をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・ご家族の意向とカンファレンス行い、情報の共有とケアプランに反映し、作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人ごとの生活記録に記入している。その他の気づきなどは申送りに記入し情報共有化をしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	外出・通院にはご家族様に協力してもらっている。緊急時などは職員で対応しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	今年度は地域の行事も中止の為未参加です。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の訪問時に生活状態などを細かく相談し必要に応じ紹介状などもお願いし他院への通院指示を受けています。その他の医療機関受診の際にも生活状態の情報を提供しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の訪問時に日常生活や医療の情報を提供し相談、アドバイスももらい支援に繋がっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	面会やご家族様を通じ細かな情報の提供を求めています。また退院後の治療方法や緊急時の対応も含め医療機関との関係強化に努めています。必要に応じて訪問看護や、訪問マッサージもいれています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	現在のところ該当事例はありませんが、家族会や面会時に看取りケアについての情報提供をしています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防訓練時に応急術の訓練を行う予定が、今年度は新型コロナウイルス感染症の為、立会いをしない為受講が出来ない。又外部受講も難しいので開催時期が来たら受講予定。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を実施している。また地域のハザードマップを施設内に掲示している。水害地域は端れている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	尊厳の保持や接遇面について勉強会を通じ職員の資質向上に努めています。個人差がありますが実施しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様本人がお好きな事をして頂ける様支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様本位が基本であると指導しています。出来る限りご本人の意向を重視しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	個人によりますが、ご自分で着るものを選ばれています。整容も起床時および入浴時に行っています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	テーブルの配置にも一定の配慮をし、食事時のトラブルを防ぐようにしています。出来る方は片付けは職員と共に行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分摂取量は確認しています。食欲低下時や水分摂取困難時は個人の嗜好に応じたものを提供したり医療関係者・家族との情報共有化を図っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後実施しています。また月2回の歯科医・月4回の歯科衛生士が訪問し必要に応じケアをしています。ケアのアドバイスを頂いています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	こまめな声かけやトイレ誘導をしています。また排泄パターンやシグナルの把握に努め自立に向けたケアに取り組んでいます。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	医療関係者とも連携しながら、水分摂取や運動・腹部マッサージなどを行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	週2回から3回の入浴と入浴剤などを使用したりして楽しんでいただくよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間は個々の利用者に聞きながら必要に応じ介助しています。入眠中は定時巡回などにより安心できるよう実施しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬情報をにより確認しています。場合によっては薬剤師に相談し粉碎などにもしてもらっています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	役割については個人差や好みに応じて持ってもらい、楽しみも個人の好みに応じたレクを実施しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出についてはご家族様対応でしたが、今後少人数での外出レクを検討中。散歩などは日常的に実施しています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は管理者管理。少額のお金を持っている入居者様もいる。外出の際は飲み物など買えるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話はご家族様からある際は話して頂いたり、手紙は可能な利用者の方には暑中見舞いを家族宛てに書いてもらいました。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様が作成したものを貼ったりトイレなどは清潔が保持できるよう努めています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	席の配置などに配慮しています。利用者様同士お部屋を行きされるためトラブルない様に配慮しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様には新しいものでなく使い慣れしんだ者を持って来て頂く。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレの場所がわかりやすいようにしたり、各居室前にはご本人の顔写真を掲示し迷ったりしないよう工夫しています。		

令和2年度

事業所名 グループホーム
みんなの家・横浜宮沢

作成日 令和2年12月21日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議における参加人数について現状は少なく、特に家族代表の参加人数が少ない。	コロナウイルスが落ち着いた際には地域、家族の参加を増やしていく。	一言通信等家族にお渡しする封書でお知らせをしたいと思います。年6回の開催の為時間を要するとは思いますが。	1年
2					
3					
4					
5					